

第3回強化練習会及び指導者講習会開催要項

- 趣 旨 2026年に本県で開催する第80回国民スポーツ大会に向け、本県選手の技術と指導者の資質向上を図る。
- 主 催 青森県空手道連盟
- 日 時 令和4年11月19日(土) 9:30~16:00 形・組手
20日(日) 9:00~13:00 組手のみ
(※強化委員及び選手は9:00集合とし会場設営を行います。)
- 場 所 19日 みちぎんどリームスタジアム(青森市スポーツ会館)
20日 青森明の星高等学校 体育館
- 講 師 <組手> 松久 功 氏(まつひさ こう)
1982年2月12日・40歳
(経歴)
元全日本強化選手(2001年~2012年)
岐阜県立岐南工業高等学校卒業
近畿大学商経学部卒業
(戦績)
1999年 第54回国民体育大会空手道競技 少年男子個人組手優勝
2001年 第45回全日本学生空手道選手権大会 男子組手優勝
2002年 第46回全日本学生空手道選手権大会 男子組手優勝
2004年 第59回国民体育大会空手道競技 成年男子個人組手重量級優勝
第17回世界空手道選手権大会 個人組手-75kg級5位
2005年 第7回アジアシニア空手道選手権大会 個人組手-75級優勝
2006年 第61回国民体育大会空手道競技 成年男子個人組手重量級優勝
第18回世界空手道選手権大会 個人組手-75kg級3位
第15回アジア競技大会空手道競技 個人組手-75kg級準優勝
2007年 第35回全日本空手道選手権大会 男子個人組手優勝
2008年 第19回世界空手道選手権大会 個人組手-75kg級3位
第36回全日本空手道選手権大会 男子個人組手優勝
2009年 第8回ワールドゲームズ空手道競技 個人組手-75kg級3位
第9回アジアシニア空手道選手権大会 個人組手-75kg級準優勝
2010年 第1回スポーツアクトワールドコンバットゲームズ空手 個人組手-75kg級3位
第38回全日本空手道選手権大会 男子個人組手優勝
2012年 第2回東アジアシニア空手道選手権大会 個人組手-75kg級優勝
第11回アジアシニア空手道選手権大会 個人組手-75kg級優勝
第21回世界空手道選手権大会 個人組手-75kg級3位
第40回全日本空手道選手権大会 個人組手優勝

< 形 > 栗原 一晃 氏 (くりはら かずあき)

1979年8月20日・43歳

(所属：公益社団法人 日本空手協会 総本部師範)

(経歴)

元全日本強化選手 (2005年～2011年)

茨城県私立水城高等学校

駒沢大学

(戦績)

1997年 第24回インターハイ 優勝

1998年 第42回全日本学生 第3位

2007年 第62回秋田国体 第3位

2007年 第35回全日本選手権大会 第3位

2009年 第64回新潟国体 第2位

2010年 第38回全日本選手権大会 第2位

2010年 第65回千葉国体 第2位

2011年 第39回全日本選手権大会 第3位

6 参加対象 19日(土)形・組手

①県空手道連盟及び県高体連空手道専門部に所属する指導者
(※参加する指導者は必ず道着を着用してください。)

②県空手道連盟令和4年度ジュニア強化指定選手

③ジュニア強化指定選手以外の中学生

④県高体連空手道専門部に所属する選手

20日(日)組手のみ

①県空手道連盟及び県高体連空手道専門部に所属する指導者

②中学生・県高体連空手道専門部に所属する選手のみ

7 参加料 無料

8 その他 (1)参加者は、①参加申込書(11/15締め切り)②連絡先等確認用紙(当日)

③参加承諾書(当日)を提出してください。

(2)参加者はマスクの着用をお願いします。

(3)参加指導者及び選手は強化委員会で保険に加入します。

(4)昼食及び飲み物は各自で準備願います。

(5)施設内への保護者の立ち入りはできません。

(6)ゴミは各自の持ち帰りとなります。

(7)当日の朝まで十分に健康観察を行い、体調不良のため参加できなくなった場合は、連絡をくださるようお願いいたします。

9 問合わせ先 青森県空手道連盟強化委員会

事務局 伊藤 光治

上北郡七戸町大沢48-8 電話 090-8925-2863

Eメール karate.kyouka@gmail.com